

低炭素社会実現のために

基本的な考え方

地球温暖化が進むと、気温が上昇するだけでなく地球全体の気候が大きく変化します。既に世界各地では、そのさまざまな影響が現れ始めており、自然環境や人の暮らしにも重大な問題を引き起こしています。こうした問題は、温暖化への対策を十分に行わない場合、さらに深刻化し、地球規模の深刻な被害をもたらす危険性が指摘されています。

当社グループでは、地球温暖化への取り組みを最重要課題と位置づけ、「エネルギー使用を減らす取り組み:省エネ」および「再生可能エネルギーを創る取り組み:創エネ」により、総合的にCO₂排出量の削減に取り組み、低炭素社会の実現を目指しています。

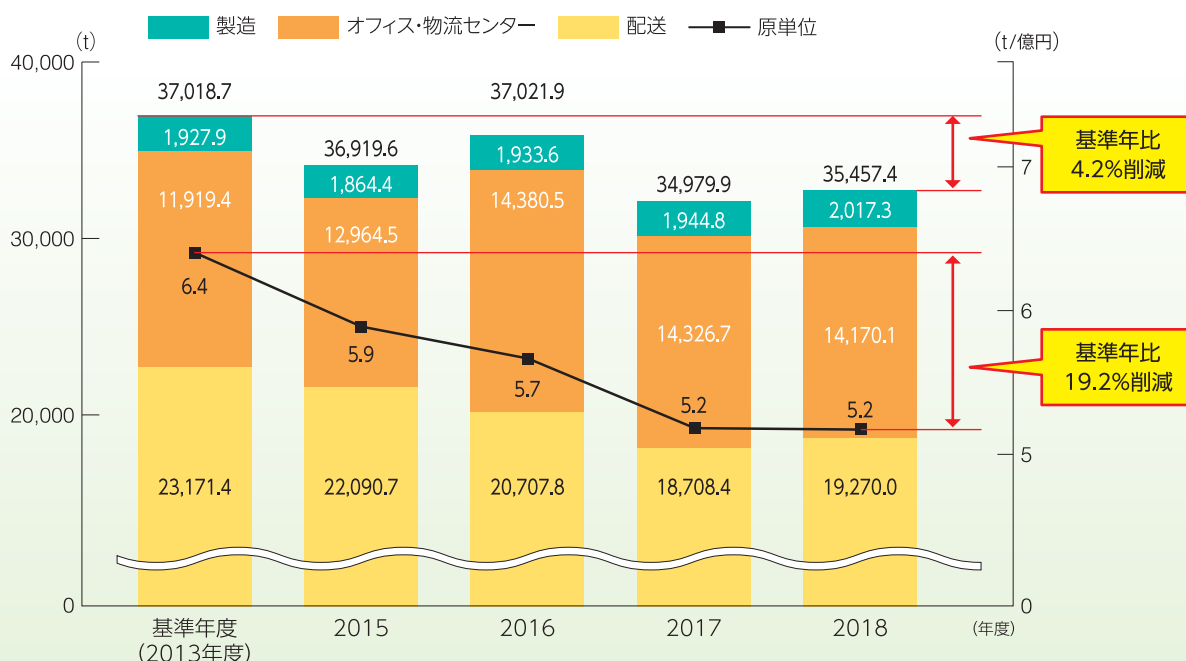
エネルギー使用に伴うCO₂排出量の削減

当社では、2013年度を基準年度とした中期目標を設定し、エネルギー使用に伴うCO₂排出量を削減するため、「製造」「オフィス・物流センター」「配送」の事業活動のシーンごとに継続的に取り組んでいます。

■主な取り組み

製造	オフィス・物流センター	配送
<ul style="list-style-type: none"> ●省エネ型ボイラへの更新 ●省エネ型空調設備への更新 ●LED照明設備への更新 	<ul style="list-style-type: none"> ●LED照明設備への更新 ●省エネ型空調設備への更新 ●デマンド監視システムの導入 ●冷凍・冷蔵設備の改修 	<ul style="list-style-type: none"> ●配送頻度の削減 ●店舗到着時間の緩和 ●効率的な配送コースの選定 ●積載効率の改善

■CO₂排出量削減状況



2019年度以降の取り組み

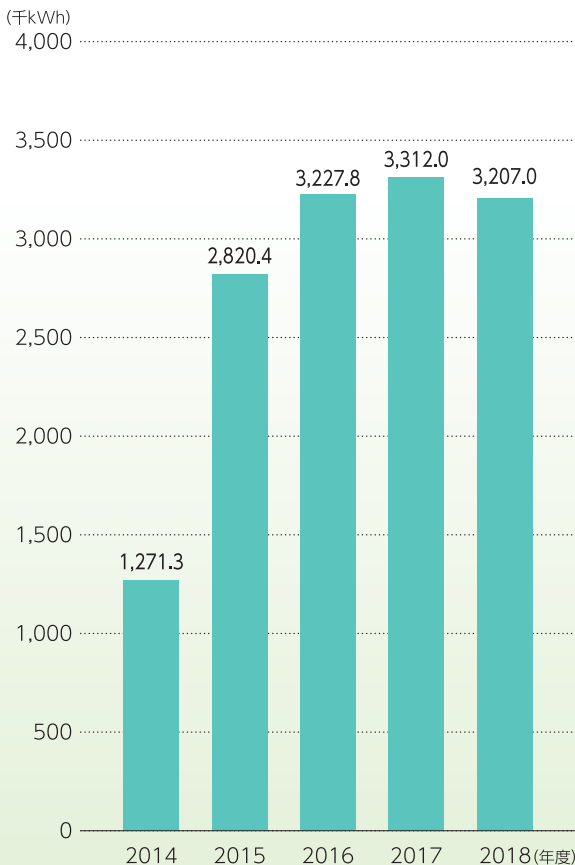
当社では2022年度までに、全国約40の事業所において、照明設備をLED照明に切り替えていきます。この取り組みにより、約2,000tのCO₂排出量の削減を見込んでいます。

2018年度の「オフィス・物流センター」部門のCO₂排出量である14,170.1tと比較すると14.2%削減することが可能となります。

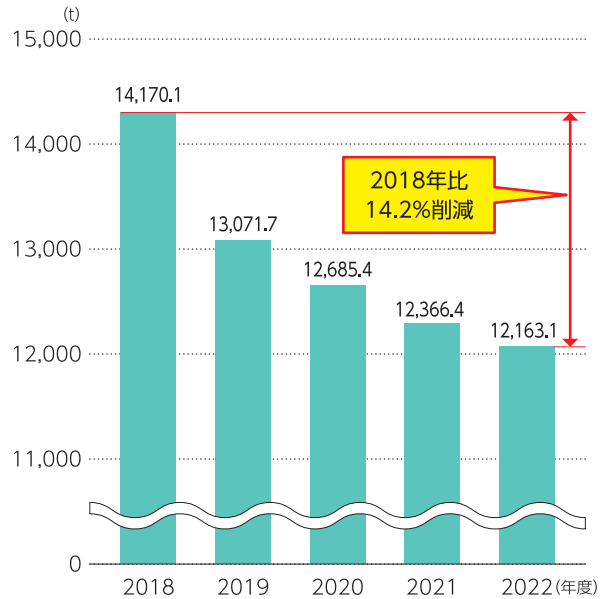
再生可能エネルギーの創出

当社グループの事業活動から排出されるCO₂の削減だけでなく、再生可能エネルギーを創る取り組みも推進することにより、総合的なCO₂排出量の削減に取り組んでいます。全国の9つの事業所の屋根に、合計で2,784kWの発電容量の太陽光発電システムを設置しています。これまで累計での売電量は13,838.6kWhとなり、一般家庭が1年間に使用する電気使用量に置き換えた場合、約3,850軒分に相当します。

■太陽光売電量推移



■LED照明導入によるCO₂排出量削減見込



■太陽光発電設置拠点

